　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年9月11日

平成３０年度関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海北陸水田作畑作・作業技術部会 研究会　開催要領

部会長　　農研機構 中央農業研究センター　 生産体系研究領域長　吉永悟志

副部会長　農研機構 次世代作物開発センター 稲研究領域長　　　　山口誠之

副部会長　農研機構 革新工学研究センター 革新工学研究監 　　細川 寿

副部会長　農研機構 中央農業研究センター　　作物開発研究領域長 荒井治喜

１．趣旨

2018年の夏季は各地で顕著な高温が記録され，水稲の生育・品質への影響が大きかったものと推察されるが，温暖化傾向が進むなかで，こうした高温条件は今後も頻発するものと考えられる．そこで，①本年の開花期高温による不稔への影響，②2010年の高温障害を教訓とした高温対策技術の適用状況，③高温耐性品種の開発状況等について，情報共有を行うとともに，今後の水稲栽培における高温対応技術の開発について討議を行う

また，部会内での研究の連携や効率化，技術の普及等を図るために必要となるテーマに関して研究情報交換を行って，情報共有を図る．本年は，ドローン利用研究に関する課題を２日目の午後に設定し，関係者間での連携について検討を行う．

２．開催日時

平成３０年１１月２０日（火） １３：００～１６：４０

平成３０年１１月２１日（水） １３：００～１５：３０

３．開催場所：農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター

展示会議室（３階）（茨城県つくば市観音台2-1-9）

４．検討内容

第１部　2018年夏季高温による水稲作における高温障害と対策技術

平成３０年１１月２０日（火） １３：００～１６：４０

＊高温耐性品種育成の動向，高温不稔や高温登熟による白未熟粒の発生状況や対策技術等に関する話題提供と総合討論．

第２部　研究情報交換

２１日（水） １３：００～１５：３０　＊ドローン利用研究に関する情報交換

５．情報交換会



農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター １階食堂　１７：３０～

６．参集範囲

農林水産省生産局、政策統括官、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局関係者、中央農業研究センター、次世代作物開発研究センター、農業技術革新工学研究センター、農業環境変動研究センター、その他部会長が必要と認めた者

７．連絡先

〒305-8666　茨城県つくば市観音台2-1-18

中央農業研究センター　生産体系研究領域　作物栽培グループ　山口弘道

Tel：029-838-8426、FAX：029-838-8515、E-mail：kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

８．その他

詳細については、別途事務連絡します。